

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」

ローカルチャレンジプログラム グローバルチャレンジプログラム 修了証の申請方法

「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」とは

地域課題解決と国際課題理解を各大学独自の体験型プログラムから重点的に学修した学生に対して、グローバル人材としての資質修得を認定するものです。

対象となるプログラムは各機関で定めていますので、担当部署に確認をしてください。

《修了証の種類》

- ・ローカルチャレンジプログラム
- ・グローバルチャレンジプログラム

※ 2つのプログラムを修了すると「学都いしかわグローバル人材」の申請をすることができます。

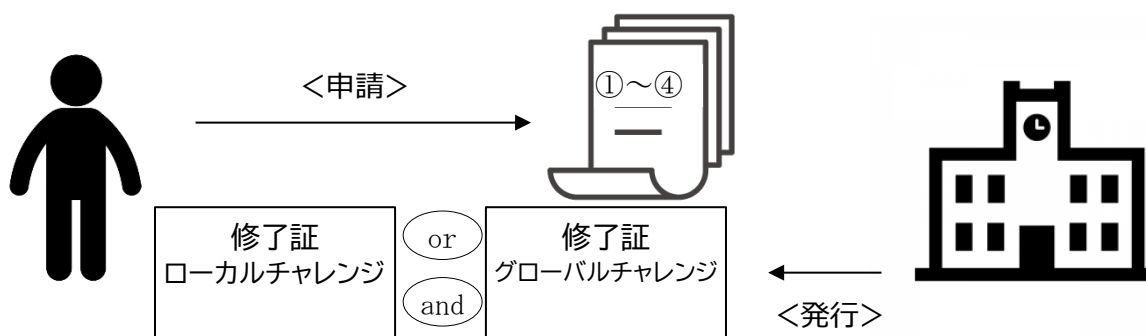
《必要書類》

- ①「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」参加登録申請書
- ②「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」修了証申請書
- ③「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」取得単位表
- ④該当科目の含まれる所属高等教育機関の成績表もしくは成績証明書

《手続方法》

所属する機関の担当部署※に上記①～④の書類を提出します。

規定の単位取得を確認後、修了証が発行されます。



《各機関の申請窓口》

- ・金沢大学学務部学務課教育推進係
メール : kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
- ・石川県立看護大学総務課
電話 : 076-281-8300、8301
- ・石川県立大学教務学生課
電話 : 076-227-7408
メール : kyomu@ishikawa-pu.ac.jp

・金城大学教学支援部

電話：076-225-3449

メール：kyoumu@kinjo.ac.jp

・石川工業高等専門学校総務課企画・地域連携係

電話：076-288-8017

メール：kikaku@ishikawa-nct.ac.jp

各機関の「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」対象科目、必要書類(成績証明書等除く)は「学都いしかわグローバルチャレンジプログラム」の[ホームページ](https://www.ucon-i.jp/newsite/jigyuu/gakuto-iskw.html)
(<https://www.ucon-i.jp/newsite/jigyuu/gakuto-iskw.html>) からダウンロードできます。

《申請時期》：随時

参 考

【ローカルチャレンジプログラムの修了要件】

ローカルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

- A群：地域を理解する科目群（石川理解を含む）
 - ・シラバスに地域理解を明記している科目から構成する。
 - ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目「石川県の市町」、「石川県の行政」、「金沢の歴史と文化」、インターネット教材「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。
- B群：フィールドワークの基礎を学ぶ科目群
 - ・シラバスにフィールドワークの知識や技術を明記している講義・演習・実習科目から構成する。
- C群：フィールドワークの実践から学ぶ科目群（報告会を含む）
 - ・実習やインターンシップなどの教室外での実践的な科目から構成する。
 - ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ※ A・B・C群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ※ 単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ※ 二つのプログラムを認定する場合は、A群における科目の重複を認める。

【グローバルチャレンジプログラムの修了要件】

グローバルチャレンジは、次の3群と最低単位で構成する。単位は、各大学の授業履修単位を想定している。

- A群：国際を理解する科目群（石川理解を含む）
 - ・シラバスに国際理解を明記している科目から構成する。
 - ・大学が開講する独自科目のほか、シティカレッジ開講科目インターネット教材、「いしかわで学ぶ未来可能性」を含めることが望ましい。
- B群：異文化コミュニケーションを学ぶ科目群
 - ・シラバスに異文化理解を明記している講義科目とコミュニケーション技術を学ぶ演習・実習科目からの両方から構成する。
- C群：海外交流の実践から学ぶ科目群（報告会を含む）
 - ・留学や海外インターンシップの実践的な科目から構成する。
 - ・国内で開催される国際交流プログラム（1単位以上相当）を含むことができる。
 - ・取り組みの成果を報告・フィードバックする報告会を含むことが望ましい。

修了要件：15単位以上とする。

- ※ A・B・C群ごとの必要単位数は各大学の事情に応じて変更することができる。
- ※ 単位化されていないプログラムは、各大学の基準に基づいて相当する単位としてみなすことができる。
- ※ 二つのプログラムを認定する場合は、A群における科目の重複を認める。